

平成25年度事業計画

事業年度 平成25年4月1日～平成26年3月31日

【公益目的事業】

I コンベンション事業

1 誘致事業

2,860千円

コンベンション誘致には、地元学協会事務局およびキーパーソンの開催意思表示が大きな要素となることから、幅広い情報収集に努め、地元関係者に対し積極的なセールス活動を行う。また、首都圏を中心とした本部事務局等を定期的に訪問し、平成25年度からスタートする「コンベンション開催支援助成金制度」やコンベンション施設、観光情報など、秋田の魅力を売り込むことでコンベンション誘致の実績向上につなげる。

(1) コンベンションの誘致セールス

880千円

- ・地元セールス・・・随時
- ・首都圏セールス・・・年10回程度（目標80件～90件）

(2) コンベンション・キーパソンの招聘

399千円

- ・年間4件程度

(3) 国際ミーティング・エキスポ（IME）への出展

946千円

- ・主催：観光庁、日本政府観光局（JNTO）、日本コングレス・コンベンション・ビューロー（JCCB）
- ・開催日：平成25年12月中旬 東京国際フォーラム 展示ホール

(4) 各種セールスツールの製作・配付

635千円

- ・誘致セールス用パンフレット 1,800枚訂正 ※H24製作分を活用
- ・施設ガイド 100部作製
- ・ノベルティグッズ 2種類程度作製

2 情報収集事業

1,640千円

(1) JNTO（日本政府観光局）・JCCB（日本コングレス・コンベンション・ビューロー）の活用

366千円

JNTO・・・海外における観光宣伝、外国人に対する観光案内、国際会議/誘致・支援及びその他の情報提供している。

JCCB・・・日本全体のコンベンション振興と人材育成等を図ることを目的に活動している。

- ・第1回コンベンションビューロー部会：平成25年5月（長野市）
- ・第2回コンベンションビューロー部会：平成25年10月（岡山市）
- ・コンベンション開催意向調査データ 約4,000件の主催者情報

(2) 東北地区コンベンション推進協議会への参画 430千円

- ・定例総会 : 平成25年 9月 (弘前市)
- ・実務職員研修会 : 平成25年11月 (長岡市)
- ・合同誘致セールス : 平成26年 2月 (東京都)

(3) 7都市情報交換会への参画 594千円

全国規模のコンベンションは、全国を各ブロックに分けて持ち回り開催することが多いことから、加盟7都市において開催済みまたは開催予定のコンベンション主催者を誘致懇談会に招待し、紹介し合うことで効率的に情報収集し誘致活動に役立てる。

- ・誘致懇談会 : 平成26年1月22日(水) 東京都
- ・担当者会議 : 年5回(5月、10月、12月、1月、2月)

※加盟都市(旭川、秋田、前橋、岐阜、姫路、松江、鹿児島)

(4) コンベンション開催情報の調査 117千円

○平成25年度秋田市開催予定件数

大会規模	件数	大会規模	件数
国際大会	2	東北・北海道大会	7
全国大会	37	東北大会	38
東日本大会	6		
		合計	94

※平成24年度アンケート依頼件数 890件 うち 回答553件 回答率62.1%

(5) 経済波及効果の測定 133千円

地域経済の活性化につながるコンベンションの有効性について、コンベンション主催者・参加者へのアンケートを実施し、経済波及効果等を測定する。

平成24年度コンベンション開催による経済波及効果
約60億円

※JCCB発行の経済波及効果測定ハンドブックにより集計

3 支援事業 3,304千円

(1) 支援ツールの製作・提供 1,299千円

- ・観光ガイドブック配付予定数 125件(前年同比)
- ・コンベンションバック製作 14,000部(隔年で製作) 1部100円で販売

(2) 歓迎ムードの醸成 1,528千円

助成対象: 国際大会100名以上、全国大会500名以上、東北大会1,000名以上

- ・歓迎ポスター・・・1大会につき850枚作製し飲食店等へ配布
- ・アトラクション開催費助成金・・・出演料の1/2かつ上限50,000円を助成
- ・あきた観光レディー・・・1件につき2名まで無料派遣

(3)「あきたコンベンション応援団」の活用

477千円

コンベンションを円滑に開催させるため、ボランティアスタッフ「あきたコンベンション応援団」を派遣し、主催者をサポートする。(現在：登録団員28名)

- ・派遣条件 全国大会800名以上、東北大会1,000名以上
- ・派遣人数 延べ10名まで(超える要請には1名につき3,000円徴収)
- ・登録者数 男性3名、女性25名
- ・派遣実績 9件 延べ89名(平成24年度)

4 コンベンション開催支援助成金交付事業【新規】

16,000千円

秋田市において開催されるコンベンションの主催者に対し、開催費用の一部を助成金として交付し、コンベンションが円滑に開催できる環境を整えることで、コンベンション開催件数の増加に結びつける。

- ・主な交付条件：東北規模以上のコンベンションで県外参加者が100名以上
- ・助成金額：県外参加者1名につき1,000円(上限無し)

II 観 光 事 業

1 観光客誘致事業

36,915千円

(1) 県外への観光PR

8,518千円

福島市で開催される「東北六魂祭」や秋田県観光キャンペーン実行委員会による首都圏でのDC誘客イベントなどへ、あきた観光レディーおよび職員を積極的に派遣し、観光客数の増加を目指す。また、過去2年間作製し好評を得ている「秋田美人ポスター」やホームページを活用し、効果的な情報発信に努める。

- ・秋田美人ポスター 作製部数：1,500枚
掲出先：JR 東日本の首都圏主要駅、市内公共施設、
宿泊施設、飲食店など

(2) あきた観光レディーの活用

3,348千円

平成25年度はDC本番の年であり、誘客キャンペーンや県内外でのイベントが多く開催されることから、5月末で任期を迎えるあきた観光レディー5名のうち、3名の任期を1年延長して対応する。併せて新規に3名を公募し、今後は6名体制で活動する。

(3) 観光ガイドブックの製作・配付

7,060千円

日本語冊子版	40,000部
日本語ダイジェスト版	50,000部
英語版(リーフレット)	2,000部
韓国語版(リーフレット)	2,000部
簡体字版(リーフレット)	1,000部
繁体字版(リーフレット)	2,000部

(4) 各種イベント、着地型メニューの企画・開発 **7, 373千円**

既存のイベントとして千秋公園桜・つつじまつりを開催するほか、昨年度からDC本番に向け準備を進めてきた着地型メニューの本格的な実施を目指す。

- ・千秋公園桜・つつじまつり
期間：桜まつり・・・4月中旬から下旬
つつじまつり・・・5月中旬から下旬
- ・着地型メニュー 個人旅行の増加や多様なニーズに対応できるよう、新たな旅行商品の企画・開発を行い、来訪者に向けた情報発信およびJR・秋田県とタイアップし、DC本番に対応する。

(5) 観光おみやげ等情報発信事業 【新規】 **10, 616千円**

工芸品や農産加工品などの各種特産品を調査・発掘し、観光お土産品として全国に情報発信することにより、新たな販路の拡大と、秋田の認知度アップを図る。

※緊急雇用創出臨時対策基金事業を活用し3名を雇用（5月～3月）

2 観光客おもてなし事業 **17, 847千円**

(1) 秋田市観光案内所の運営 **10, 032千円**

(2) 秋田市観光案内人の活用 **317千円**

・登録人数：28人 派遣費用：1時間1,000円)

(3) 受入体制づくりの強化 **1, 747千円**

DCによる観光客の増加が見込まれることから、他団体と更なる連携を図り、ホスピタリティセミナーや、外国人観光客に対応するための語学研修を開催し、おもてなし気運を高める。また、「観光客満足度調査」を今年度も実施し、問題点を解決することで受入体制の強化を図る。

(4) DC案内体制整備事業 【新規】 **5, 751千円**

DC本番により増加が見込まれる観光客に対し、的確で丁寧、積極的な観光案内を行うため、観光コンシェルジュ2名を雇用し、ソフト面でのイメージアップを図ることで、リピーターの増加に結びつける。

※緊急雇用創出臨時対策基金事業を活用し2名を雇用（5月～3月）

【収益目的事業】

I 竿燈まつり事業

1 竿燈観覧席予約センターの運営	110千円
-------------------------	--------------

竿燈まつり実行委員会の委託を受けて、竿燈観覧席予約センターの運営を行う。

- ・委託期間：平成25年4月1日（月）から8月31日（土）
団体予約開始：4月1日（月）10：00から
個人販売開始：5月1日（水）10：00から

2 竿燈まつり記念うちわの製作・販売	721千円
---------------------------	--------------

「竿燈まつり記念うちわ」を製作し販売する。

- ・製作本数：20,000本
- ・販売価格：1本100円

3 竿燈まつり事業の受託	7,229千円
---------------------	----------------

竿燈まつり実行委員会の委託を受けて、下記の事業を行う。

- ・委託期間：平成25年5月1日（水）から8月31日（土）
- ・業務内容：警備員の配置、従事者弁当の手配、臨時職員の雇用

II 売店等運営事業

1 売店運営事業	4,548千円
-----------------	----------------

①千秋公園売店運営

- ・期間：4月中旬から11月中旬
- ・営業時間：9時から16時（悪天候時は閉店時刻変更）

②県立中央公園スポーツゾーン売店運営

- ・期間：4月中旬から11月中旬
- ・営業時間：9時から16時（悪天候時又はイベント開催内容により閉店時刻変更）

2 自動販売機設置事業	1,680千円
--------------------	----------------

現在、千秋公園と県立中央公園及び一部の手詰め作業の自動販売機について、平成24年度中にフル・オペレーション契約にし作業の効率化を図る。

- ・設置箇所：千秋公園、八橋運動公園、榎山コミュニティセンター、スポーツパークかわべ、岩見山内コミュニティセンター、へそ公園、秋田県立中央公園、ふるさと温泉、B&B海洋センター、特別養護老人ホーム花の家、高尾山、雄和農林漁家高齢者センター

【その他事業】

I 組織推進事業

新規賛助会員獲得のため、賛助会員に対するメリットの検証や新たなサービスの充実を図るほか、各種団体と連携し、新規賛助会員情報の収集と公益法人としての社会的地位の確立を目指す。

1 賛助会員交流事業

702千円

会員が一同に会する場を提供し、相互の情報交換や親睦を深めることで一体感のある組織づくりを目指す。

- ・開催時期：平成25年11月
- ・会場：未定

2 各種団体との連携

449千円

地域活性化に向けた市民・県民や各種団体との連携会議等に積極的に参画し、情報の収集と人的交流により、賛助会員に最新の情報提供や、当協会の事業内容の周知を図り協会の存在を周知する。